



2026年2月号 (No.34)

多気町立図書館だより



TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>

～特別整理期間のお知らせ～

多気図書館

2月24日(火)～3月5日(木)

返却本はブックポストへお願いいたします

多気図書館

2月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 おはなし会
8	9	10	11	12	13 おはなし おもちゃ	14 おはなし ほけっと
15	16	17	18	19	20 赤ちゃん おはなし 会	21
22	23	24	25	26	27 リサイクル フェア	28
おはなし会 10:30～						

～除籍本リサイクルフェアのお知らせ～

2月28日(土) ①10:00～ ②11:10～

多気図書館エントランスホール 詳細はHPにて

●整理券が必要です。子どもは小学生以上、整理券が必要となります。未就学児は入場できません。

●町外の方は、図書館利用カードをお持ちの方のみ可能。

●当日、整理券をお持ちでない方や、忘れた方は入場できませんのでご注意ください。

整理券の配布 先着各60名 ひとり2枚まで
2月14日(土)10時～ 多気図書館にて配布します

※先着順、無くなり次第終了します。

※町外の方は図書館利用カードをお持ちください。

勢和図書館

2月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1 特別整理期間	2	3	4	5	6	7
8 ほんと カフェ	9	10	11	12	13	14 おはなし会
15	16	17	18 おはなし会 (0～3歳)	19	20	21 除籍本市
22	23	24	25	26 音読講座	27 整理日	28 おはなし会
おはなし会 10:30～						

ブックスタート(おひさま) 2/25(水)10:00～

～イベント紹介～

●ほんととカフェ&人形劇フェスティバル
とき:2月8日(日)13:00～16:00コラボ:のこことさん コーヒー:金川珈琲さん
人形劇:14:00～(※要申込 入場料500円)

●除籍本市“除籍本もらってフェア”

とき:2月21日(土)10:00～

●勢和中学校吹奏楽部コンサート

とき:2月22日(日)13:30～

●音読講座～健康寿命、延ばします!～(※要申込 2/6～)

とき:2月26日(木)10:00～

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「seiwilib」で検索

詳しくはチラシを
ご覧ください!!

勢和:FB



勢和:IG

2月のおすすめ本



『クッキングと人生相談』 枝元 なほみ・ビッグイシュー日本販売者:著

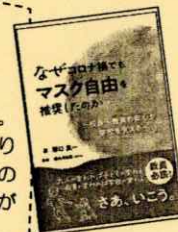
ビッグイシュー日本 (159 円)

さまざまな年代の人のそれぞれの悩みにホームレスの生活を経験した「ビッグイシュー日本版」販売者たちが回答します。ユーモアを交えつつ自分事として考えて答えてくれる。読んで元気をもらえる人生相談です! あたたかい言葉の数々、枝元さんのお料理と一緒に召し上がれ。あなたの人生レシピの参考にどうぞ。

『なぜコロナ禍でもマスク自由を推奨したのか』

原口 真一:著 アメージング出版 (374 円)

コロナウイルスが蔓延し始めた頃、それまでには考えられない光景が広がりました。常にマスク。3密回避。消毒の日々。そして全国一斉休校。学校が再開しても制限ばかりの日々。そんな中、全部禁止! できない! とするのではなく、どうしたら開催できるのか。何が今を生きる子どもたちのためになるのか。を考え続けたある学校の校長先生がいました。



『がんばらないコンポスト生活』 服部 雄一郎:著 アノニマ・スタジオ (518.5 円)

タイトルの「がんばらない」には3つの意味が込められているそうです。1.「がんばらなくてもよい」ということ。2.「無理しない=自然に逆らわない」ということ。そして最後に、「がんばる」の意味自体が変わる! ということ。コンポストにひたむきに向き合い、コンポストで四季を感じる。コンポストをやっている人もいない人もとても楽しめる一冊です!



『コレクターズパレード 100人の収集生活』

落合 加依子・佐藤 友理:編 小鳥書房 (790.4 円)

お菓子の空き箱から、キャラクターグッズ、日本酒のワンカップなど人から見たと捨ててしまうような物まで、ありとあらゆるコレクションのご紹介! 一つ一つに思い入れがあるようです。え!?「寝癖」のコレクション??



『青とうすしお』 ドリアン 助川:著 新潮社 (F913.6 円)

ある理由から青春時代を過ごした淡路島に帰ることができなかった圭介。しかし恩師の危篤をきっかけに帰ることに。高校時代人形浄瑠璃部に情熱を注いだ日々を思い出す。家族、仲間、ライバル、そして想い人の存在…。500年以上歴史のある人形浄瑠璃に高校生たちが青春を費やす。

かつての自分を思い出し、“ある理由”と向き合う圭介は…。



『シニア・シンデレラたちのラストクルーズ』 保坂 祐希:著 中央公論新社 (F913.6 円)

人生の節目を迎えた65歳の女性3人が、豪華客船で10日間のクルーズへ。まったく違う人生を歩んできた3人が、それぞれの悩みや過去を抱えながらも、少しずつ自分らしさを取り戻していきます。

年齢を重ねたからこそ胸に沁みる、友情と再出発の物語です。

